

日本海の水産資源変動予測 現場の海洋観測からみえる海洋環境と水産資源の関係

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 水産大学校 公開日: 2025-01-14 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 滝川, 哲太郎, 李, 雅利, 鬼塚, 剛 メールアドレス: 所属:
URL	https://fra.repo.nii.ac.jp/records/2012628

This work is licensed under a Creative Commons Attribution 4.0 International License.



日本海の水産資源変動予測

現場の海洋観測からみえる海洋環境と水産資源の関係

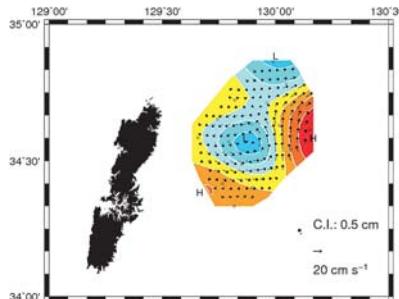
海洋生産管理学科 滝川哲太郎・李 雅利・鬼塚 剛

研究の目的

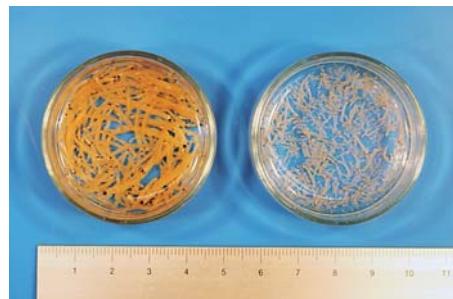
対馬暖流は東シナ海から対馬海峡を経て日本海に流入する唯一の海流であり、日本海の海洋環境や漁場形成に大きな影響を与えています。本校練習船を使って、好漁場で知られる対馬海峡から日本海山陰沖にかけて、物理・化学・生物過程に関する総合的な現場海洋観測を行い、これらの観測結果から、流れや水温といった海洋環境、動植物プランクトン、魚の卵や稚魚が、どのような関係にあるか調べています。

研究の成果と水産業等への貢献の期待

対馬海峡で観測された低気圧性渦（反時計回りの渦）では、植物プランクトンが多く生息しています。また、対馬海峡で多魚種の卵や稚魚が採集されており、対馬暖流にのって下流の日本海山陰沖へ輸送されていることが考えられます。このように、海洋環境と海洋生態系は密接に関係しているため、対馬海峡の現場海洋観測を続けることで、将来の海洋環境変化による水産資源の変動をいち早く察知できると考えています。



1) 対馬海峡で観測された低気圧性渦



2) 対馬海峡で採集されたカタクチイワシの稚魚（シラス）

【外部資金名】 大型クラゲ発生源水域における国際共同調査事業（農林水産省）